

園農上村
宮城県に生産施設
発芽野菜では国内最大規模

村上農園（村上清貴社長、広島市佐伯区）は、発芽野菜の生産施設「宮成大郷生産センター（仮称）」（宮城県大郷町）を設置する。敷地面積は東京ドーム1・3個分の約6万平方メートルで、発芽野菜の生産施設では国内最大規模となる。

同社では千葉、山梨、神奈川、静岡、三重、広島（2か所）、福岡の合計8か所に生産施設を持ち、東北エリアは初進出。東北エリアには主に関東で生産した商品を輸送していたが、新生産拠点の設置により鮮度の高

い商品をリーズナブルな価格で提供できるようにする。また、生産施設の従業員を地元から積極的に採用し、地元雇用の創出にも貢献する。

2020年中の稼働を予定し、先月着工式を行った。生鮮品目は「豆苗」「スプラウトシリーズ」（アロココリ、クレス、マスタード、レッドキャベツ）、「かいわれ大根」「マルチビタミンB12かいわれ」など。

第1期は温室約1万4

000平方メートル、作業棟約1600平方メートル、生産能力（スプラウトシリーズ換算、年産）3350万パック。2期温室約6000平方メートル、3期温室約1万6000平方メートル、4期温室約6000平方メートル。投資規模は15億円（1期）。